

インド持分法適用会社 スタビライザ製造ライン増設について

当社グループの持分法適用会社である Stumpp Schuele & Somappa Auto Suspension Systems Pvt. Ltd.（以下 5 S 社）チェンナイ工場に、乗用車用スタビライザの新製造ラインの増設を決定しました。

5 S 社は日系自動車メーカーの部品の現地調達化ニーズに応える形で 2014 年に設立。以来、自動車メーカーの生産拡大ニーズに応え続けることで、インド国内のシェアを約 30%にまで拡大しています。

インドの自動車市場は人口増や所得向上を背景に成長を続けており、インドのライトビークル(\*1)生産台数は 2027 年に 626 万台と 2024 年比 10.5%増になると予測されています。(\*2)

こうした需要の高まりを受け、本年 1 月に巻ばね製造ラインの新工場を増設しました。さらに足元でスタビライザの受注が増加していることを踏まえ、新工場に新たにスタビライザラインの増設を決定しています。現在チェンナイ工場及びソナ工場のスタビライザラインがフルキャパシティに近い操業となっていますが、この投資により 5 S 社全体の製造能力は約 2 倍に拡大し、お客様の旺盛な需要に応えることが可能になります。

今回の設備投資を機に、さらなる需要の取り込みに向けた積極的な拡販活動を進めるとともに、技術と品質の向上に取り組んでまいります。

(\*1) 乗用車及び車両総重量 6t 未満の商用車  
(\*2) 英調査会社 GlobalData (グローバルデータ)の生産予測(2024 年 11 月)による

＜5S 社の概要＞

|     |           |                                                                |
|-----|-----------|----------------------------------------------------------------|
| (1) | 名称        | Stumpp Schuele & Somappa Auto Suspension Systems Pvt. Ltd.     |
| (2) | 所在地       | インド カルナータカ州ベンガルール                                              |
| (3) | 代表者の役職・氏名 | Managing Director M.R.Satish                                   |
| (4) | 事業内容      | 乗用車用懸架ばね・スタビライザの製造及び販売                                         |
| (5) | 資本金       | 10,814千インドルピー(2025年7月24日時点)                                    |
| (6) | 設立年月日     | 2014年                                                          |
| (7) | 大株主及び持株比率 | Stumpp Schuele & Somappa Springs Pvt. Ltd. 74%<br>三菱製鋼株式会社 26% |
| (8) | 拠点数       | 3拠点(本社・ベンガルール工場、チェンナイ工場、ソナ工場)                                  |
| (9) | 設備投資の内容   |                                                                |
|     | 概要        | チェンナイ工場 スタビライザ製造ライン1ライン増設                                      |
|     | 稼働開始      | 2026年度予定                                                       |
|     | 総投資額      | 約6.5億円                                                         |



5S 社チェンナイ工場

<三菱製鋼グループ インド拠点>



<本件に関するお問い合わせ>

広報・IR 部 03-3536-3118

以 上